

令和 6 年度市民図書館管理運営業務計画（案）について

指定管理者：特定非営利活動法人こまどり会

I. 管理業務の概要

【1. 管理運営の基本方針】

- ①市民の自由な学習と自立を支援する生涯学習の拠点である図書館として、地域の課題解決支援、市民が読書に親しむことができるような環境づくり、読書推進の啓発活動に努めます。
- ②資料の充実と郷土、窯業関連、街道関係など特色ある資料収集を行い、市民や利用者への資料及びサービスの提供に努めます。
- ③窓口での貸出返却だけでなく、IT を活用して利用者への利便性を図り、情報提供に努めます。
- ④日々の業務、各種事業について職員一同が市民サービスを第一に考え、読書推進のために正確かつ円滑な業務運営に努め、信頼される図書館を構築します。
- ⑤新型コロナ 5 類への移行に伴う感染予防対策を踏まえ、利用者が安心、安全に利用できるように施設づくり、イベント、学習活動は万全な予防対策を講じて、読書推進につながる有意義な事業展開をします。
- ⑥「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」に基づいた視覚障がい者等に優しい図書館を目指すため、調査研究に努めます。

【2. 安全・安心面からの管理運営の具体策】

- ・図書館長を総括として、管理運営体制の充実を図ります。
- ・図書館の指定管理者として基本協定書に基づき、貸出返却業務をはじめ瑞浪市図書館に関する業務規程に従って利用者の安全第一を基本に管理運営を行います。
- ・施設全体の運営については、システム更新に伴い導入したセルフ貸出機能など、新システムを活用して、利用者身近な図書館施設として利用促進を図ります。
- ・館内の日常的な清掃業務は、職員と委託者が行います。
- ・利用者トラブルや個人情報流出、自然災害や火災など緊急事態に対応できるよう危機管理のための情報共有と職員研修を行います。また、情報機器を活用した緊急連絡網を作成し、緊急時の体制を確保します。
- ・火災等の施設での災害に対応するため、避難誘導訓練、消火訓練、通報訓練を年 2 回以上実施します。利用者を対象に地震を想定した防災訓練を実施します。
- ・職員は、救命講習等を受講し、基礎的な応急手当方法を取得します。

【3. 施設の管理について】

1. 休館日、開館時間、職員の勤務時間について

休館日 月曜日（その日が祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日から翌年1月4日）
整理休館日（月末の平日）、特別休館日（蔵書点検のための休館）
休館日の詳細は、「令和 6 年度瑞浪市図書館年間開館予定表」に記載
開館時間 火曜日～土曜日 午前 10 時から午後 7 時まで（8 月は午前 9 時開館）
日曜日・祝日 午前 10 時から午後 5 時まで（8 月は午前 9 時開館）
職員勤務時間（2 部制）午前 9 時から午後 6 時まで／午前 10 時から午後 7 時まで

2. 職員の研修計画

- 1) 先進地や話題の図書館への現地視察を行います。
- 2) 県公共図書館協議会等が主催する研修会へのリモートを含めた研修に積極的に参加します。
- 3) 避難誘導訓練の実施 開館時間内での防災訓練及び職員による館内の防災設備の確認や安全対策への研修を行います。
- 4) その他管理運営に必要と判断した研修会に参加します。

3. 経理

指定管理料等の一般会計と N P O 法人会計を設置し、企業会計簿記を採用して処理します。

【4. 施設の運営について】

1. 図書館の運営に係る業務

1) 図書館資料の収集及び一般公衆の利用に供する業務

①**図書選書業務** 限られた予算の中、令和6年度購入計画を基に効率的な選書を実施します。市民の意見を反映しつつ、各ジャンルの貸し出し状況等を考慮してバランスのとれたより良い蔵書構成に努めます。

②**リサイクル本の活用** 除籍本や寄贈された資料の中で、収集基準に該当しないものはリサイクル本として図書館入り口のリサイクル本コーナーやリサイクル本市をはじめ環境フェア、各地区の文化祭に参加して再活用します。

2) 利用相談業務

レファレンス業務の強化と他機関との連携に努め、生涯学習の拠点としての図書館の利用を促進します。

3) 分室、閲覧所、配本等の管理に関する業務

本館や分室のない地域の方へのサービスとして、各地区の催し物への積極的な参加や高齢者・障がいのある方など、図書館に足を運べない方への宅配サービスの利用を促します。

4) 学校、博物館、公民館等との連携に関する業務

各機関と連携を深め、情報共有とお互いの協力体制に努めます。

5) 子どもの読書推進に関する業務

図書館の大きな課題として、子どもの読書離れを防ぎ、読書を奨励推進するため学校との連携を図りつつ図書館の児童サービスを充実することが挙げられます。そのため、親子で図書館に足が運べるような環境づくりとともに、「瑞浪市子どもの読書活動推進計画」にあるように、学校、PTAや子ども会等の関係団体との連携が必要です。具体的には以下のとおり取り組みます。

①**子ども読書推進事業** 「本と緑のさんぽみち」をはじめ、「図書館まつり」等のイベントでの読書推進、読み聞かせの大切さや楽しさを伝えます。

②**読み聞かせ活動の充実** 毎週土曜日と未就園児を対象とした毎週水曜日に実施している「おはなしのじかん」、令和4年度から始めた「おはなしのじかんABC」の広報活動と充実を図り、ブックスタートなどで読み聞かせの大切さを積極的に周知します。併せて、読み聞かせボランティアの研修、育成講座を実施して、充実を図ります。

③**小中学校との連携** 市立の各小中学校でブックトークを実施し、読書離れが懸念されている年代に向け、読書推進を図ります。ヤングアダルトコーナーを充実させ、本との出会いをサポートします。各小学校からの施設見学では図書館の利用のしかた、貸出体験と図書カードの普及を促進して継続的な利用を図ります。

6) シニア読書推進事業

シニア向けの講座の開講やシニアによく借りられる本や作家の特集を行い、定期的に来館を促すような事業を行います。具体的にはテーマを絞った特集本コーナー、好きな作家やジャンルを決めての少人数による茶話会形式の読書会、日本文学、日本史講座を実施します。

7) ボランティアの育成及び支援に関する業務

活動休止や退会で減少傾向にあるボランティアのPR活動や講座開催に努めてボランティアの確保と現在活動している方たちの全体的なスキルアップを図ります。

2. 利用の促進に係る業務

1) 市民への利用促進のため、広報活動の充実を図ります。

①**図書館ホームページ及びSNSの利用促進**

②**次の広報紙等を作成し、関係機関へ配布**

ア 「図書館だより」(市広報1日号に掲載)

イ 一般利用者対象「瑞浪市民図書館だより」(毎月1日発行)

ウ 児童対象「おともだち」(毎月末日発行)

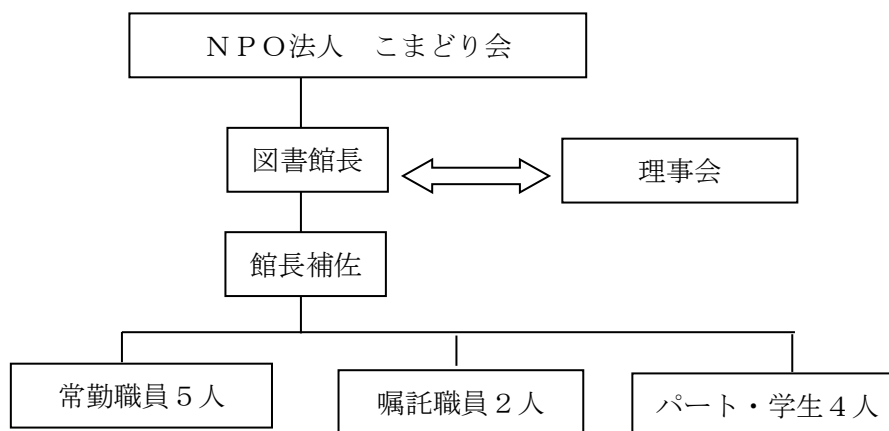
| |
|---|
| <p>エ 各種事業の案内チラシ（適宜）</p> <p>オ 利用案内の英語版を作成</p> <p>2) インターネットを活用した図書予約システムの活用</p> <p>3) 本の紹介を含め、わかりやすい内容説明やおすすめ文等をポップにして紹介</p> <p>4) シニアやヤングアダルトを対象とした読書案内</p> <p>5) 夏休み期間の開館時間延長（8月の開館時間を午前9時からとします。）</p> <p>6) ミニ展示コーナーの活用</p> <p>展示期間の短縮でより多くの利用といろいろなジャンルの展示を行い、いつも図書館に足を運んでいただけない方たちにも楽しんでもらえるように工夫します。</p> <p>3. 年間図書館事業計画（詳細は別紙1「瑞浪市民図書館事業計画」に記載）</p> <p>1) 図書館イベント開催事業</p> <p>2) 各種講座開催事業</p> <p>3) 展示活動</p> <p>4. 利用者の要望の把握及び実現策</p> <p>1) 各種イベントでのアンケート調査や常設の利用者アンケートを行い、利用者ニーズの把握に努めます。</p> <p>2) 関係団体等に情報を提供し、利用促進を図ります。</p> <p>3) 事業計画は図書館だより、市広報、ホームページを通じて市民にお知らせし利用促進を図ります。</p> <p>5. その他（他施設との連携等）</p> <p>1) 市民図書館の管理運営を向上させるために、他施設との連携強化を図ります。</p> <p>2) 他施設の事業を視察し情報を得ることで、事業の促進と向上を図ります。</p> |
| <p>【5. 個人情報の保護の措置について】</p> <p>1) 個人情報の保護のため、瑞浪市個人情報保護条例を遵守し、瑞浪市情報公開条例の手続きに準じて情報の公開を行うため、市主催の研修会に参加する等、個人情報保護に努めます。</p> <p>2) 名簿等個人情報が記されている電子機器等の保管は、錠のある倉庫、引き出しに管理し、情報の漏洩に注意を払います。</p> |
| <p>【6. 緊急時対策について】</p> <p>1. 防犯、防災の対応</p> <p>1) 防犯については、現行のセキュリティ契約で対応します。</p> <p>2) 防災については、消防法の規定に基づき防火管理者を設置すると共に、同法に基づく訓練及び施設の点検を定期的に行います。</p> <p>2. その他、緊急時の対応</p> <p>1) 緊急事態発生時にはスマホアプリ等を活用して職員間での情報の伝達共有をして緊急事態に対応します。</p> <p>2) 救急救命の技術を身に付け、緊急時に応急手当を行います。</p> |

2. 保守点検業務

| 項目 | 必要管理項目 | 頻度 |
|---------|--------------------|-------------|
| 清掃 | 館内日常清掃 | 毎日（職員及び委託者） |
| 図書館システム | 日常保守管理 | 毎日（職員及び委託者） |
| ダムウエーター | 日常保守管理 | 毎日（職員） |
| 自動ドア | 保守点検 | 年2回（委託者） |
| 小破修繕 | 照明設備の維持・交換その他施設の修繕 | 必要に応じて |
| 備品 | 日常保守管理 | 毎日（職員） |

3. 組織又は人員の体制や従業員の雇用計画

(1) 組織



(2) 人員の体制や従業員の雇用計画

| 役職 | 職員数 | 職務の内容 | 勤務形態 |
|---------|-----|--|------|
| 図書館長 | 1 | 図書館を代表するとともに、図書館事業を主催する。 図書館の管理運営を総括し、管理運営に関し必要な指示を行う。 | 非常勤 |
| 図書館長補佐 | 1 | 館長を補佐するとともに、市の担当課との窓口、利用促進の営業活動等を行う。 主に施設の管理を行う。 | 常勤 |
| 図書館一般職員 | 5 | 分室、団体貸出担当 選書管理、ブックスタート担当 図書館システム、ブックトーク担当 窓口、広報担当 相互貸借担当 | 常勤 |
| 嘱託職員 | 2 | 経理、ボランティア活動サポート | 非常勤 |
| パート職員 | 1 | 窓口業務 | 非常勤 |
| 学生アルバイト | 3 | 窓口業務 | 非常勤 |

4. 収支計画

別紙収支予算書のとおり

瑞浪市民図書館事業計画

(種別) イ:イベント活動 展:展示活動 学:学習活動 他:その他

| 種別 | 事業名 | 内容等 | 実施時期 | 回数 | 対象 | 備考 |
|----|------------------|--|------|-----|----------|---------------|
| イ | 本と緑のさんぽみち | 芝生広場で読みきかせ、ものづくりやしかけ絵本の展示等を開催 | 4月 | 1 | 親子 | 参加費なし |
| 学 | ボランティア講座 | 各種ボランティアの紹介と体験講座 定員:10名 | 6月 | 1 | 一般 | 受講料なし |
| 学 | 日本文学講座 | 日本文学講座 定員:20名 講師:湯原定雄 | 6月 | 5 | 一般 | 受講料 1,000円 |
| 学 | 日本史講座 | 日本史探求講座 定員:20名 講師:岡崎洋子 | 5月 | 5 | 一般 | 受講料 1,000円 |
| イ | 図書館まつり | 閉館後に図書館探検や読みきかせ会等を2日間実施 | 7月 | 1 | 一般、子ども | 参加費無料 |
| 学 | 夏のわくわくとしょかん | 子供向けの講座を実施 工作や司書講座等 | 7~8月 | 2~3 | 子ども | 参加費あり |
| イ | 閉架書庫開放します | 関係者以外立ち入り禁止の閉架書庫を開放 | 11月 | 1 | 一般 | 参加費なし |
| 学 | 読書会 | 定員:10名 テーマに沿って参加者が好きな本を紹介 | 4月 | 年4 | 一般 | 参加費なし |
| 学 | 講演会 | 作家講演会 定員:200名 著名な作家を招いて講演会開催 | 9月 | 1 | 一般 | 参加費 1,000円 |
| 新イ | ぬいぐるみお泊り会 | 子供が大切にしているぬいぐるみを図書館が一晩預かり絵本と一緒にお返しする 状況はSNSで発信 | 12月 | 1 | 子ども | 参加費なし |
| 新イ | おとなのためのボードゲーム体験会 | ボードゲーム活用の可能性、イベント方法を知るための体験学習 | 未定 | 1 | 一般 | 参加費なし |
| 展 | ミニ展 | 開架スペースで年間を通してミニ展を開催する。 4月 絵画展 5月 未定 6月 グラフィック展 7月 図書館企画展 8月 未定 9月 シャインカービング展 10月 未定 11月 図書館企画展 1月 未定 2月 水彩画展 3月 陶芸作家展 | 年間 | 12 | 来館者 | |
| イ | おはなしのじかん | 土曜日午後2時~ 毎週水曜日午前11時~ 未就園児対象に読み聞かせ おはなしのじかんABC第2 土曜日午前10時30分~ | 年間 | — | 子ども | ボランティア協力 |
| 他 | ブックスタート | 4カ月健康診査時に読みきかせ等を行う。 | 毎月 | — | 4か月児とその親 | ボランティア協力 |
| 他 | ブックトーク | 市内の小中学校へ出向いてブックトークを行う。 | 随時 | — | 小中学生 | |
| 他 | ワークショップ | 主に展示者によるワークショップ開催 | 随時 | | | |